

野田村ワイナリー サポート会員募集

野田村ワイナリー サポートメンバー募集に当たってのご挨拶

この度、岩手県野田村でのワイナリー事業に係るサポートメンバーの募集に当たり、ワイナリー事業推進の代表者としてご挨拶いたします。私たちの野田村は東日本大震災大津波により甚大な被害を受け、岩手県北沿岸部では最大規模の被災状況となりました。大災害から4年半以上経過しました現在においても被災者の住宅の再建等が4割程度とまだまだ復旧は道半ばで、被災者の生活再建のため事業を最優先に進めなければならず、復興関係の事業への早期の対応は難しい環境にあります。

このような中、災害から立ち上がり、復興に向けた新たな取り組みとして野田村産山ぶどうを原料とした山ぶどうワインを生産するワイナリー事業を展開することとしました。

この事業の展開にあっては、事業資金の確保、ワインの販路の確保、醸造技術者の育成等難題が山積しておりますが、計画にご賛同いただいております方々のご支援等をいただき、山ぶどう生産農家、野田村、(株)のだむらが一丸となって美味しく・上質な、皆様に愛される山ぶどうワイン等を生産してまいりたいと考えております。

つきましては、ワイナリー事業に係る資金・販路確保等の一環として、野田村ワイナリーサポートメンバーの募集を関係者のご協力をいただき推進いたしますので、多くの皆さまの応募をお願いいたします。

野田村でのワイナリー実現のため是非皆様のご協力をお願いします。

平成27年10月28日

株式会社のだむら 代表取締役社長
小田祐士 (野田村長)



野田村との挑戦

復興の柱を！

震災後の復興を支援するため開発したコスメ「クーネ」の素材の一つとして使用することになった「のだ塩」から野田村とご縁が始まりました。そして、野田村の特産品である山ぶどうの市場開拓という宿題をいただきました。

調べてみると山ぶどうの栽培農家はどこも高齢化しているうえ、市場が少ないために買い取り価格が低迷し原価を割り、後継者難に陥り廃業の危機にあることを知りました。

糖度が高いので生で食べてもおいしく、ピューレやジャムなどの加工食品にも向き、ワインにしたら世界に通用する可能性を秘めているとも言われる野田村の山ぶどう栽培を継続でき、野田村全体の復興・発展に寄与する道はないか。震災で大きな被害を受けた故郷のために何かしたいという若者も仕事がないために戻れないという状況もあり、雇用機会が生まれるような産業を興すことができれば、これからの村の復興の柱になります。

地元ワイナリーを

野田村では以前から山ぶどうのワインを造っていました。でもそれは他地域のワイナリーでの委託醸造でした。地元ワイナリーをとというのは農家の方たちにとっても悲願だったのです。野田村にワイナリーを開設する。そして、ワイナリーを中心とした村全体の活性化という復興構想のイメージが広がりました。

野田村の宝がつまったワイナリー

合併をせず、村のままで存続したいという意味を尊重し、身の丈にあった小規模な産業による村興しを目指します。

村で栽培できる素材以上に規模を広げず、丁寧でこだわったワイン造りが持続できるように。使用電力は敷地内に設置する太陽光発電で賄い、マンガン採掘のために掘られた元坑道はワイン貯蔵庫に最適です。ワイナリーでできたワインを海の幸、山の幸とともに味わっていただく小さなレストランもあれば、海に見えるワイナリーは内外の人々の憩いの場となるでしょう。

仲間が結集！

震災後、野田村をそれぞれの分野で応援していたグループが力を合わせてワイナリー構想を実現しようと集まりました。内外の想いと力が同じ目的に向かって一つになる。震災で尊い命を落とされた方達が、村を、残された人々を守ろうと力を与えてくださっている、そんな気がします。

お願い

どうぞ、サポート会員となり、ワイナリーの開設、運営にご協力ください。投資でも寄付でもない商品購入代金を先にお支払いいただくことにより、ワイナリーの施設や機械設備資金、運営資金が得られます。皆さまのお力で野田村にワイナリーを！

NPO 法人ベルダレルネーヨ共同代表
(有) ネバリ・バザーロ代表
土屋春代



野田村ワイナリー
サポート会員
お申込先

有限会社ネバリ・バザーロ

<http://verda.bz>

HPのトップページ「お知らせ」欄より、お申込みページにお進み下さい。

もしくは、下記にご連絡頂ければ、専用のお申込用紙をお送り致します。

TEL : 045-891-9939 FAX : 045-893-8254 E-mail : common@nbazaro.co.jp

お申込み頂いた方には、2016年1月以降、お振込先などの詳細なご案内書を順次お送り致します。

行って
きました！

野田村・山ぶどう収穫 お手伝いツアー @岩手県野田村

2015.10/10～12 (土～月祝)

ネバリ・バザーロスタッフ、陸前高田・椿のみちの工房スタッフ、ボランティア計12名で野田村を訪問しました。山ぶどうの収穫真っ只中で忙しい中、6軒の農家さんに分かれて収穫や選果をお手伝いしました。山ぶどうを収穫する作業と、一つひとつ実の状態を確認して、良くない実を取り除く作業を体験させて頂きました。これだけの手仕事を経て、ワインやジュース、ピューレに加工されていることを思うと、いかに手がかかった貴重なものかを実感しました。作業後に頂いた、山ぶどうジュースの美味しかったこと！

来年はツアーを開催致します。皆様のご参加、お待ちしております！



山ぶどう収穫お手伝いツアー @岩手県野田村

手紙の宿

懐かしい風景

2016.10/8～10 (土～祝月) 宿泊：苫屋、庵日形井 など

2016年
ツアー
第4弾

山ぶどう収穫のお手伝いをさせていただきます。この時に収穫した山ぶどうが、第1号の野田村のワインになります！陶芸や木工、山ぶどう染め、郷土料理などの体験コースも企画中。